



# たづがね (鵲が音)

「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい」の西北台っ子



## 3学期もご理解ご協力よろしくお願いします

新年明けましておめでとうございます。皆様にとって素敵な2026年になりますことを心からお祈り申し上げます。

いよいよ西北台小学校最後の学期となる3学期がスタートしました。『この学校で学んだことに自信(誇り)をもち、新しい学校での出会いを楽しみにする(期待)』を念頭に置きながら、「閉校の準備」＝「閉校への助走」と位置づけ、今のメンバーでしかできない最高の成功体験の一つでも多く積み上げていく！ということを教職員と再確認しました。48人の児童が西北台小学校での生活を礎として、4月からの羽咋小学校、羽咋中学校での生活がスムーズにスタートできるように教職員一同粉骨砕身で取り組んでいきます。この3学期も温かいご支援ご協力をよろしくお願いします。

さて、3学期は書き初め大会を皮切りに、市学力調査(13日)、感謝の会、送る会(2月20日)、卒業式(3月18日)など2学期同様に児童の成長を感じられる行事がいくつもあります。また、これまでも実施してきた羽咋小学校との交流【TOMOGAKU】も進めていきます。

学期のまとめとして学年のまとめとして、そして西北台小学校で過ごす最後の3ヶ月間です。ただ、1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われ、あっという間に過ぎ去っていく印象があります。一人一人が目標をもち、仲間や時間、空間、手間(4間)を大切にしながら過ごしていけることを願っています。児童のより一層の成長の場を提供できるように、教職員一丸となり教育活動の充実を図っていきます。何とぞよろしくお願いします。

## 2026年は丙午(ひのえうま)の年にあたります

[Q1] 丙午(ひのえうま)とは？

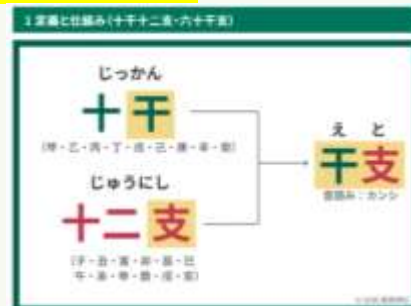
→ 十千の「丙(ひのえ)」と十二支の「午(うま)」が重なる六十干支の一つを指します。通常は年の呼称として用いられますが、干支は月・日・刻にも付きます。読みは「ひのえうま」です。

[Q2] 丙午の年に生まれた女性は「気性が強い」は本当？

→ それは歴史的に流布した俗信の一つで、現代的な根拠はありません。

[Q3] 丙午は具体的に何年？ 次はいつ来ますか？

→ 丙午は60年ごとに巡り、近現代では1906年・1966年・2026年・2086年…です。  
「前回+60年」で覚えると便利です。



『産泰神社 HP より一部抜粋』

2026年は、十二支の「午(うま)」年。うまは、古くから「躍動」「成功」「勝負運」を象徴する干支として知られています。さらに、2026年は60年に一度巡ってくる丙午(ひのえうま)の年。火の性質をもつ「丙」と、行動力を象徴する「午」が重なることで、情熱や勢いが高まり、太陽のようなエネルギーに満ち溢れた一年になると言われています。そんな2026年を「新たなことにチャレンジする年」にしてもいいかもしれませんね！

## 万一の災害時に備えて再確認を！

新しい年を無事に迎えることができたことを心から喜んでいきます。ただ、「1月1日」という日は能登に住んでいる私たちにとって特別な日となった2年前。災害はいつ・どこで・どのような状況下で起こるか分かりません。また、二次災害についてもしっかりと知識が必要であることが分かりました。

学校では定期的に、子どもに「家で、学校で、登下校中、遊んでいてなど、災害はいつ起こるか分からない。万一の時は素早く安全行動を取り、自分の命は自分で守る。」と指導しています。この機会に再度災害時の安全行動や災害後の連絡などについて、ご家庭でもご家族で対話をしてみてください。